



## 掲載に際して(二〇〇六年度卒業論文要旨集)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-01-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 後藤, 秋正 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/7283">https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/7283</a>

## 二〇〇六年度卒業論文要旨

掲載に際して

漢文学研究室 後藤 秋正

国語関係教員の研究室が並んだ区域とは少し外れたところに、国語専攻の学生控室がある。構想発表会など、卒業論文にかかわる一連の行事が始まったころから、このわずか二〇平方米ほどの狭い控室では、夜遅くまで執筆に励む卒業年次生たちの姿が見られるようになった。土曜・日曜などに大学に出て来ても、必ず誰かの姿がそこにあった。最初のころはみんな和気藹々としていたが、締め切り期日の一二月二八日が近くなると、部屋に入るのもためらわれるほどの、張りつめた空気が漂うようになった。うずたかく積まれた参考資料や文献、散乱しているとしか見えない書きかけの原稿。たまには整頓せよ、などとは言いい出せない、冗談でも言おうものなら逆に叱られかねない、真剣な顔があった。

そうして完成し、提出された卒業論文の要旨である。この学年とは、三年次の終わりに、松本・長野・小諸・軽井沢・東京などを廻った。楽しかった旅の思い出とともに、苦闘した卒論の思い出も大学生活の貴重な体験として脳裏に刻まれていることであろう。なお、掲載の順番は、学生番号の順とした。